

強く正しく美しく

資母小学校 (但東)

案内者 渡邊

秀哉くん



資母小学校は、豊岡市の東部に位置し、地域の大半が京都府と隣接しています。四方を山々が囲い、四季折々の風景を生み出す自然豊かな地域です。現在、9つの地区から、104人の児童が通っています。



▲四方を山々に囲まれ、自然に包まれている資母小学校

資母小学校に通う渡邊秀哉くんの特技は、幼稚園から始めた剣道で、1級の腕前です。また、放課後は野球部に所属し、センターやピッチャーもこなす運動神経の持ち主です。将来はプロ野球選手になります。

「りたいという夢を持つ、児童会の渡邊くんは資母小学校を紹介してもらいました。」

「僕の一番思い出に残っている学校の行事は、農業体験活動です。」

5月に僕たちは、学校近くの田んぼで地域の方に教わりながら稲の苗を手植えしました。そして、今年はや予定より実りが早く、9月4日に稲刈りをしました。

毎年11月には、収穫した米で収穫祭を行い、お世話になった地域の方や保護者と一緒にみんなで料理を作りまします。昨年はビーフシチューを作って、自分たちが植えて刈り取った米のご飯と一緒に食べました。大勢の人と食べてとても楽しかったです。また、みんなが楽しみにしている行事に「なかよしタイム」があります。毎週金曜日の午前中、20分程度の時間を使って、鬼ごっこやかくれんぼなどの遊びを全校生でします。みんなと一緒に体を動かせるので、とても気持ちいいです。

もう一つの楽しみは、3学期にある百人一首大会で、学年を超えてグループ対抗で競います。昨年、僕のグループの結果はよくなかったのですが、百人一首をすることで、言葉から伝わってくる歴史に興味を持つことができました。



▲農業体験活動で稲刈りをする子どもたち。「いっぱいお米ができたよ」

僕は、小学校生活最後の学年になったので、悔いの残らないように勉強やクラブ活動に精一杯頑張っています。そして、中学校に進学したら、友達をいっぱい作りたいと思っています。

笑顔の輪

気軽に楽しめるスポーツで仲間づくり

『城崎卓球クラブ』(城崎)

城崎在住の卓球経験者が集うグループ「城崎卓球クラブ」は、城崎中学校体育館で週2回練習会を開催し、汗を流しています。昭和47年に発足し、現在、会員数は20人です。春秋、冬に但馬で開催される大会にも積極的に参加しています。

会長の中村文明さん(城崎町湯島)は「相手と打ち合うラリーが続いた時のリズム感と、相手コートにボールを打ち込むスマッシュで点を取った時が最高です」と卓球の楽しさを話します。

卓球は、相手にボールを打ち返す時に回転をかけてボールの軌道を変化させたり、球速に緩急をつけるなど、相手との心理的な駆け引きがとても大切なスポーツです。また、天候に左右されずに年間通じていつでもできるため、気軽に楽しむことができます。メンバーの松井 薫さん



▲週2回の練習では、メンバーのボールを打つ音とメンバーのかけ声が館内に響きわたっている

中村会長は「新たな入門者や競技人口を増やすため、中学生や高校生などの指導に当たり、後進育成活動に積極的に取り組めます」と抱負を述べていました。